

日本 IFToMM ニュース No.28

2002 年 10 月

[1] 平成 12 年度日本 I F T o M M 会議総会の報告

平成 12 年 11 月 28 日 (火)、工学院大学新宿校舎において総会が開かれ、平成 11 年度の事業報告、収支決算報告および監査報告、平成 12 年度の事業計画および収支予算の審議ならびに承認が行われた。主な議事、決定内容の詳細は下記の通りである。

I. 平成 11 年度事業報告

1. 国際活動

- (1) **10th World Congress (1999 年 6 月 20 日～24 日, Oulu, Finland)**
- (2) **9th General Assembly (総会) (1999 年 6 月 23 日, Oulu, Finland)**
 - ・ 37 ヶ国出席
 - ・ 三浦宏文委員長が IFToMM 執行委員会のメンバーに選出された。
 - ・ 508 件 **presented orally**, 116 件 **presented by poster**
 - ・ 参加者：45 ヶ国から 464 名

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を 2 回開催 (第 105 回～第 106 回 1999 年 4 月 27 日, 9 月初旬)
- (2) 第 5 回日本 IFToMM 会議シンポジウムを 1999 年 11 月 9 日に工学院大学新宿校舎にて開催。

3. 会員の状況 (2000 年 4 月 1 日現在)

個人会員： 106 名

賛助会員： 5 団体

株式会社小笠原プレジジョンラボラトリー、太陽誘電株式会社
(財)機械振興協会、株式会社東芝、日機装株式会社

Ⅱ. 1999年度収支決算報告（平成11年4月1日～平成12年3月31日）

1. 一般会計

収入の部

（単位：円）

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|---|
| 会費収入（個人） | 300,000 | 300,000 | '93 3,000 × 1 '94 3,000 × 1 '95 3,000 × 2 '96 3,000 × 2 '97 3,000 × 4 '98 3,000 × 12 '99 3,000 × 75 2000 3,000 × 2 2001 3,000 × 1 |
| 会費収入（賛助） | 250,000 | 200,000 | '99 50,000 × 4 |
| 雑収入 | | 402 | |
| 小 計 | 550,000 | 500,402 | |
| 前期繰越金 | 891,321 | 891,321 | |
| 合 計 | 1,441,321 | 1,391,723 | |

支出の部

（単位：円）

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|----------------|----------------|----------------|--|
| [国際活動費] | <u>255,000</u> | <u>224,149</u> | 2000年度会費 US\$ 2,000.00 × 108.95 |
| I F T o M M年会費 | 249,600 | 217,900 | |
| 送金手数料 | 5,400 | 5,400 | |
| 現地支払銀行手数料 | | 849 | |
| [国内活動費] | <u>707,000</u> | <u>317,929</u> | |
| 会議費 | 100,000 | 2,215 | |
| 講演会費 | 300,000 | 100,000 | |
| 印刷通信費 | 100,000 | 104,690 | |
| 事務委託費 | 100,000 | 100,000 | |
| 郵便振替費 | 7,000 | 5,710 | |
| 予備費 | 50,000 | 5,314 | |
| パンフレット印刷代 | 50,000 | 0 | |
| [MMT誌費] | <u>47,500</u> | <u>47,500</u> | 9,500 × 5 ('99 Vol.34) (MMT誌会計へ繰入れ) |
| 賛助会員購読料 | 47,500 | 47,500 | |
| 小 計 | 1,009,500 | 589,578 | |
| 次期繰越金 | 431,821 | 802,145 | |
| 合 計 | 1,441,321 | 1,391,723 | |

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|-----------|---------|---------|--|
| MMT誌購読料収入 | | | |
| 個 人 | 180,500 | 88,000 | 2,500 × 1 (99 Vol.34) (前年度不足分) 9,500 × 9 (2000 Vol.35) |
| 賛 助 | 47,500 | 47,500 | 9,500 × 5 (99 Vol.34) (一般会計から繰入れ) |
| 小 計 | 228,000 | 135,500 | |
| 前期繰越金 | 231,427 | 231,427 | |
| 合 計 | 459,427 | 366,927 | |

支出の部

(単位：円)

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|---------|---------|---------|---|
| 出版社への支払 | 264,000 | 266,510 | VOL. 34 (99) NLG 178.00 × 25 名 × 59.89 = 4,450.00 × 59.89 (一冊単価：¥10,660) |
| 通 信 費 | 4,000 | 4,000 | |
| 小 計 | 268,000 | 270,510 | |
| 次期繰越金 | 191,427 | 96,417 | |
| 合 計 | 459,427 | 366,927 | |

3. 準備金

| | |
|---------------|------------------|
| (1) 国際会議準備金 | 710,000 |
| (2) 国際交流活動準備金 | 400,000 |
| 合計 | <u>1,110,000</u> |

Ⅲ. 1999年度監査報告

剰余金処分案

平成12年3月31日

(単位：円)

| | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 1. 当期末処理分剰余金 | | 898,562 |
| 1. 前期繰越剰余金 | 1,122,748 | |
| 一般会計 | 891,321 | |
| MMT誌会計 | 231,427 | |
| 2. 当期収益金 | -224,186 | |
| 一般会計 | -89,176 | |
| MMT誌会計 | -135,010 | |
| 2. 剰余金処理額 | | |
| 1. 国際会議準備金 | 0 | 0 |
| 2. 国際交流活動等準備金 | 0 | 0 |
| 3. 次期繰越剰余金 | | 898,562 |
| 一般会計 | 802,145 | |
| MMT誌会計 | 96,417 | |

上記のとおり相違ありません。

平成12年4月

日本 IFToMM 会議
委員長 三浦 宏文
幹事 林 巖

上記の調査を遂げ、その正確であることを承認します。

監事 人見 宣輝

IV. 2000 年度事業計画案

1. 国際活動

- (1) 執行委員会 (2000年7月2日, Poland)
- (2) **International Conference on Machine Automation (ICMA 2000)**
(2000 年 9 月 27 日～29 日, 大阪工業大学)

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を 4 回開催予定 (5 月, 10 月, 11 月, 3 月)
- (2) 日本 **IFTToMM** 会議シンポジウム開催予定
第 6 回 (2000 年 11 月 28 日) 工学院大学
- (3) 日本 **IFTToMM** ニュースを年 1 回発行予定
- (4) 会員増強キャンペーンを行う.
- (5) 日本 **IFTToMM** 会議のホームページを充実させる.

V. 2000年度収支予算案（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

1. 一般会計

収入の部

（単位：円）

| 項目 | 予算 | 備考 |
|----------|-----------|----------------------|
| 会費収入（個人） | 300,000 | 2000 3,000 × 100 (名) |
| 会費収入（賛助） | 250,000 | 2000 50,000 × 5 (社) |
| 小計 | 550,000 | |
| 前期繰越金 | 802,145 | |
| 合計 | 1,352,145 | |

支出の部

（単位：円）

| 項目 | 予算 | 備考 |
|-------------|----------------|--------------------------|
| [国際活動費] | <u>246,400</u> | |
| IFTToMM 年会費 | 240,000 | 2001 US\$ 2,000 (@120) |
| 送金手数料 | 5,400 | |
| 現地支払銀行手数料 | 1,000 | |
| [国内活動費] | <u>707,000</u> | |
| 会議費 | 100,000 | |
| 講演会費 | 300,000 | |
| 印刷通信費 | 100,000 | |
| 事務委託費 | 100,000 | |
| 予備費 | 50,000 | |
| パンフレット印刷代 | 50,000 | |
| 郵便振替費 | 7,000 | |
| [MMT誌費] | <u>47,500</u> | 9,500 × 5 (2000 Vol. 35) |
| 賛助会員購読料 | 47,500 | (MMT誌会計へ繰入れ) |
| 国際会議準備金積立 | 0 | |
| 小計 | 1,000,900 | |
| 次期繰越金 | 351,245 | |
| 合計 | 1,352,145 | |

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

| 項 目 | 予 算 | 備 考 |
|-------------|---------|-------------------------------|
| [MMT誌購読料収入] | | |
| 個 人 | 199,500 | 2000 9,500 × 21 (Vol.35) |
| 賛 助 | 47,500 | 2000 9,500 × 5 (一般会計から繰入れ) |
| 小 計 | 247,000 | |
| 前期繰越金 | 96,417 | |
| 合 計 | 343,417 | |

支出の部

(単位：円)

| 項 目 | 予 算 | 備 考 |
|---------|---------|-----------------------------------|
| 出版社への支払 | 286,000 | VOL. 35 (2000) 11,000 × 26 (冊) |
| 送金手数料 | 4,000 | |
| 小 計 | 290,000 | |
| 次期繰越金 | 53,417 | |
| 合 計 | 343,417 | |

3. 準備金

| | |
|---------------|------------------|
| (1) 国際会議準備金 | 710,000 |
| (2) 国際交流活動準備金 | 400,000 |
| 合計 | <u>1,110,000</u> |

[2]第6回日本 I F T o M M 会議シンポジウムの報告

総会に先立ち、下記の要領で第6回のシンポジウムが開催された。前回の第5回に続くもので、会員の自主的参加による **The Theory of Machines and Mechanisms** に関する講演で、討論重視の方針も踏襲された。発表件数も 17 件を 5 セッションに分け、1 件につき発表時間 15 分、討論 10 分で行われた。また最後に北郷薫先生（工学院大学理事長、東京大学名誉教授）が「I F T o M M の思い出」と題する特別講演をされた。シンポジウムの参加者は約 50 名で、講演前刷集が参加者と会員に無料で配布された。

第6回日本 I F T o M M 会議シンポジウムプログラム

日 時：2000年11月28日（火）8：30～17：30

場 所：工学院大学（新宿校舎）28階第4会議室

発表テーマ

セッション1：人間らしいロボット 座長 堀江 三喜男

1. Human Like Robot Head that has Personality based on Equations of Emotion
Hiroyasu Miwa(Waseda Univ.), Hideaki Takanobu, Atsuo Takanishi
2. 人間らしい動きを持つ肩機構（Shoulder Mechanism with Human-Like Motion）
岡田 昌史(東京大)、中村 仁彦
3. 情緒交流と自律的行動生成のためのロボットの構造
尾形 哲也(早稲田大)、菅野 重樹

セッション2：ロボットの機構設計・運動制御 座長 岡田 昌史

4. モジュール代表点を用いた網構造ロボットの運動制御
岩附 信行(東工大)、林 巖、森川 広一、香川 美仁(カリフォルニア大学)、
細野 美玲(日本IBM)、北村 友勝(東工大)
5. 2足歩行機械の自励駆動と入力最小軌道解
小野 京右(東工大)、高橋 隆太郎、劉 榮強(ハルビン工大)
6. Design and Development of a Soft Joints Robotic Manipulator
Khalid Munawar (Tohoku Univ.), Masateru Kawaguchi, Koyu Abe and
Masaru Uchiyama

セッション3：アクチュエータ 座長 岩附 信行

7. ゴム管アクチュエータのロボットへの応用
柳沢 隆志(工学院大)、八木 慎太郎、井出 寿治、三浦 宏文
8. 2自由度超音波アクチュエータによる球体の姿勢制御
下田 真吾(東京大)、上山 雅之(ミノルタ)、松田 伸也、松尾 隆、
佐々木 健(東京大)、板生 清
9. フレキシブル導波路一体型光ヘッドスライダ機構の浮上設計及び機械特性
廣田 輝直(東京大)、大久保 俊文、板生 清
10. 球面超音波モータを利用した人工義手の開発
遠山 茂樹(東京農工大)、深谷 直樹、エコ・プルワント
11. 各種アクチュエータの特性に関する研究
林 輝(桐蔭横浜大)

セッション4：マイクロマシン・精密機構 座長 寺田 英嗣

12. シリコン基板表面のぬれの変化とマイクロマシンへの応用
神谷 大揮(東工大)、堀江 三喜男

13. Fabry-Perot 干渉計を利用した超精密位置決めおよび結晶格子と空気軸受けを利用した超精密角度位置決め精度検証
東 保男(高エネ研)、谷口 敬、杉山 弘、張 小威、安藤 正海、
人見 宣輝、阪井 寛志(京大理)、本田 洋介
14. コオロギとスズムシの発音機構の工学的検討
林 巖(東工大)、岩附 信行、森川 広一、香川 美仁(カリフォルニア大学)
山本 和男、虎頭 保尚、

セッション5 : 運動・動力伝達機構 座長 人見 宣輝

15. 大容量ハーフトロイダルCVTの開発
杉原 淳(日産自動車)、日比 利文(ジヤトコ・トランステクノロジー)、
森 春仁(日産自動車)
16. 揺動運動形ボール減速機の基礎解析
寺田 英嗣(山梨大)、入江 稟三(三協オイルレス工業(株))
17. ディーゼル機関のクランク軸系のねじり振動
山内 孝宏(いすゞ自動車)、木村 譲二、大石 久己(工学院大学)

◆特別講演

「I F T o M Mの思い出」

北郷 薫 先生 (工学院大学理事長、東京大学名誉教授)

VI. 2000年度日本 IFToMM 会議実行委員会委員

| | | |
|------|---|---|
| 委員長 | 三浦 宏文 | 工学院大学 |
| 副委員長 | 舟橋 宏明 吉本 堅一 | 東京工業大学 東京大学 |
| 委員 | 板生 清 内山 勝 大石 久己 大輪 武司 笠原 章裕 梶谷 誠 加藤 正名 川島 忠雄 木村 康治 久保 愛三 木暮 賢司 五嶋 裕之 小西 義昭 斉藤 之男 高西 淳夫 高増 潔 谷江 和雄 中田 毅 中村 仁彦 林 巖 林 輝 樋口 俊郎 福田 敏男 堀 幸夫 山川 新二 | 東京大学 東北大学 工学院大学 ㈱東芝 ㈱東芝 電気通信大学 秋田県立大学 東京電機大学 東京工業大学 京都大学 N T T境界領域研究所 ㈱機械振興協会 日機装㈱ 東京電機大学 早稲田大学 東京大学 工技院機械技術研究所 東京電機大学 東京大学 東京工業大学 桐蔭学園横浜大学 東京大学 名古屋大学 金沢工業大学 工学院大学 |
| 監事 | 人見 宣輝 | 高エネルギー加速器研究機構 |